

寺子屋まつだから川柳で受賞

夏休み期間中に行われた、寺子屋まつだの「川柳を学ぼう」で井月麻鈴さんの川柳が神奈川新聞第7回ジュニア短歌・俳句・川柳の中学生の部で佳作に入賞しました。



寺子屋まつだに参加した井月さん(後ろ左から2番目)

第35回全国中学生人権作文コンテスト神奈川大会で渡邊涼香さん(松田中3年)と茅根緋奈乃さん(寄中3年)が奨励賞を受賞しました。

人権作文で奨励賞受賞



石井 秀子 さん
大正4年11月20日生

100歳を迎えられました

11月20日に、石井秀子さんが100歳を迎えられ、ご入所されている特別養護老人ホームへ町長がお祝いに訪問しました。秀子さんは、町長からのお祝いと花束を笑顔で受け取られていました。秀子さんの部屋の前や壁には、秀子さんの作られた俳句の短冊がいくつも飾られて、日頃の生活が思い浮かびました。取材後の12月14日、秀子さんは天寿を全うされました。ご冥福をお祈りします。



カメラリポート

平成27年度一市四町青少年交流事業



11月14日から15日までの2日間、秦野市表丹沢野外活動センター及び二宮町梅沢海岸で開催された「平成27年度一市四町青少年交流事業」において、松田小学校と寄小の児童7名が参加しました。一日目はあいにくの雨模様でしたが、室内で竹とんぼ作りや屋内運動会を楽しみ、二日目は予定していた地引網体験で、たくさんの魚を採ることができ、おみやげをたくさん持ち帰ることができました。

より良いまちづくりへ向けて

12月9日(水)、松田町都市計画審議会及び新たに発足した新松田駅周辺地域まちづくり協議会を開催しました。まちづくりの将来像について、これから検討を進めます。



オール松田 de おもてなし

町は、おもてなし宣言を、より多くの方に親しみをもつて実行していただくために、「おもてなし」の頭文字で作文をするという企画を募集します。応募される方は、ハガキ裏面に住所・氏名・年齢・電話番号と作品をご記入いただき、〒258-8585「松田町役場政策推進課」までお送りください。(1月31日必着) また、町ホームページからも応募できます。 ※ご応募いただきました



スマートフォンからも応募できます。

作品例

- おはようの声で
- もらえた
- ていねいな挨拶
- なごんだ今日は
- しあわせな一日

作品募集でおもてなし 作品は、他の方の作品と組み合わせ、合作とさせていただきます。 ※採用された作品の著作権は松田町に帰属します ※採用された作品の作者は広報紙や町ホームページなどに掲載させていただきます

きらきらフェスタ



会場の様子(町上空から)

昨年よりきらきらフェスタは盛況のうちに終了しました。今回は、ハーブ館の巨大ツリーのバージョンアップ、チェリーナの丘では海や滝をモチーフにした青色LEDの飾り付けが大変好評でした。1月9日〜11日は、成人を祝うイルミネーションを再点灯します。詳しくは7面をご覧ください。

障害者週間



障害者週間の12月3日(木)から1週間、さがみ信用金庫松田支店ロビーで、町内の通所施設「KOMNYすみれの家」と「コスモス学園松田センター」利用者のみなさんによる作品展が開かれました。

第18回まつだ産業まつり 11月22日(日)開催



多くの人で賑わった会場

当日はおおよそ8000人という例年ないほどの来場者数がありました。今月初の試みである、けんちゃん汁の無料配布も、昨年度好評を博したさんま大祭のさんまも終了時間を待たずに品切れとなり、盛況のうちに終了しました。姉妹町として出店しているお馴染みの千葉県横芝光町のどろネギは1時間足らずで完売し、長野県千曲市のりんご販売も多くの買い物客であふれていました。また、今回初めて出店する新しい業種の方の参加も多数あり、会場は大賑わいでした。

寄ロードレース



12月13日(日)に、第33回松田町ロードレース大会が行われました。当日は雨が降ったり止んだりとお天気が悪く、寒さには負けず、92名が参加し、沿道の温かい応援に後押しされ、赤や黄に染まった寄地区の大自然の中を駆け抜けました。